

地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
医療サービス推進課医療連携室
Vol.60 2016.1 発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL 03(3964)1141 (代表)

FAX 03(3964)1982 (代表)

新年のご挨拶

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
センター長 許俊鋭



新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、今年も先生方にとりまして実り多い年となりますようお願いしております。また、昨年中は東京都健康長寿医療センターの運営に多大なるご支援、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。本年もどうかよろしくお願い致します。

私共のセンターは「高齢者の心身の特性に応じた適切な医療の提供、臨床と研究の連携、高齢者のQOLを維持・向上させるための研究を通じて、高齢者の健康増進、健康長寿の実現を目指し、大都市東京における超高齢社会の都市モデルの創造の一翼を担う」ことを基本理念とし、病院と研究所が一体となって活動を続けて参りました。

平成25年に現在の新施設に移転し、病院は高齢者の高度急性期医療を担う病院としてハイブリッド手術室など高度先端医療機器を充実させ、最先端医療からお年寄りに寄り添う医療まで患者さんが必要とされる医療を提供させて頂いています。

国の施策上、在院日数の短縮は全ての病院に課せられた責務ではありますが、連携の先生方のご協力により当センターでも平均在院日数は平成24年度17.5日、25年度15.8日、26年度13.0日と大きく短縮することが出来ました。一方、その結果病床利用率は84.5%、79.7%、80.8%と大きく低下し、病院運営上大きな負担となっていました。しかし、平成27年度上半期は平均在院日数が12.1日とさらに短縮したにも拘らず病床利用率は86.1%と大きく改善しました。平成24年度に比較して平成27年度上半期は約30%入院患者数が伸び病床利用率が改善したことになります。在院日数短縮並びに入院患者数増加は治療成績の向上もさることながら、700名を越す連携医をはじめ地域の先生方のご支援無くしては達成は不可能であります。

これからも連携医の先生方、地域の先生方、介護施設の方々と力を合わせて、地域の方々に益々信頼して頂ける病院にしていきたいと存じますので、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

～医療連携室直通電話のご案内～

医療連携室直通：03-3579-6963 (平日9:00～17:00)
代表電話：03-3964-1141 内線1139～1142でも承ります。

医療連携室では直通電話番号をご用意しております。迅速な対応に努めておりますので是非ご利用下さい。

予約専用電話	検査予約	医療連携室
(外来予約専用) 03(3964)4890 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 当センターは紹介予約制です。 ご紹介の際は、紹介状とご予約 をお願いいたします。	(代表電話番号) 03(3964)1141 (対応時間) 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度 (内線2187) ◎RI (SPECT、PET検査) (内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応 を行っております。	医療連携についての問い合わせ (代表電話番号) 03(3964)1141 (内線：1139～1142) FAX:03(3964)1392 ホームページ： http://www.tmg Hig.jp/ (過去の地域連携NEWS、講演会 のご案内、医療連携室のご案内は ホームページでご覧いただけます。)

●東武東上線「大山」駅下車
南口・北口より徒歩4分

●都営地下鉄三田線
「板橋区役所前」駅下車
A2出口より徒歩11分
お車でお越しの方に駐車場(駐車
料無料)も御用意しております。駐車
台数に限りがあることを、予めご承知
おきください。



心臓外科のご紹介



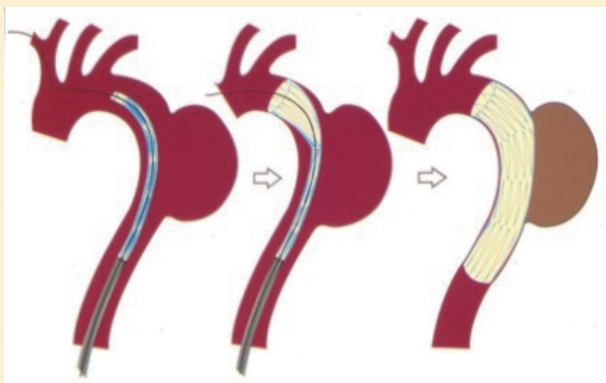
心臓外科
センター長 許 俊鋭

東京都健康長寿医療センター心臓外科は、6年前に開設され初代の診療科長は五條理志現京都府立医科大学特任教授で今は二代目の西村隆部長が診療科長を務めています。天皇陛下が3年前に78歳で冠動脈バイパス手術を受けられましたように心臓病は高齢者の病気です。日本の年間総医療費は40兆円と言われていますがその15%が循環器系疾患に費やされ内75%に当たる4.5兆円が65歳以上の循環器疾患患者さんに費やされています。日本の成人心臓外科手術の約半数近くが70歳以上の症例が締めています。

このような状況の中で、当センターは高齢者にやさしい低侵襲かつ最先端の心臓外科治療の確立を目指しています。体外循環を用いない冠動脈バイパス手術（OPCAB）は勿論のこと、高齢者に極めて多い急性大動脈解離や大動脈瘤に対する①経カテーテル大動脈ステントグラフト治療（TEVAR）や重症心不全に対する②補助人工心臓治療などを提供し大学病院に勝るとも劣らない治療成績を上げています。更に来年度の実施に向けて③経カテーテル大動脈弁置換（TAVI）や④植込型補助人工心臓の施設認定申請中であります。また、2～3年後のiPS細胞を用いた重症心不全（特に補助人工心臓装着症例）に対する心臓再生医療の実現に向けても鋭意準備中であり、これら高度先進医療実施のために設けた⑤ハイブリッド手術室も現在フル稼働の状況です。

また、こうした高度先進医療実施には、心臓外科医・循環器内科医・麻酔科医・心臓リハビリ医・看護師・放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・臨床検査士・ソーシャルワーカー・栄養士などを含めたハートチームが極めて重要です。新しい年に向けて、東京都健康長寿医療センターハートチームは地域の先生方と密接に連携し重症心疾患を持つ高齢患者さんの健康長寿・QOLの向上のために全力を尽くして邁進する覚悟です。

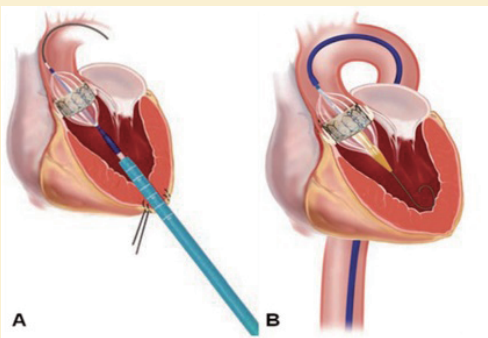
どうか、よろしくご指導ご鞭撻をお願いいたします。



①大動脈ステントグラフト



②体外設置型補助人工心臓



③経カテーテル大動脈弁置換（TAVI）



④植込型補助人工心臓



⑤ハイブリッド手術室

救急診療部のご紹介 ～断らない救急の取り組み～



救急診療部 部長
坪光 雄介

当センターは、二次医療機関として24時間積極的に救急患者の受け入れを行っています。「断らない救急外来」をスローガンに2012年1月救急診療部設立、2013年6月新病院移転以降、救急患者数は増加しております。医師、コメディカル、病院全体として救急患者を積極的に受け入れております。

「大動脈スーパーネットワーク」

当センター心臓外科は緊急大動脈支援病院となっております。

- *急性大動脈疾患に対し循環器内科と心臓血管外科が協力して緊急診療体制をとり、効率的に患者受け入れを可能とする「急性大動脈スーパーネットワーク」が、2010年11月1日より開始。
- *緊急大動脈支援病院とは、急性大動脈疾患の入院・手術を優先的に受入可能な病院とします。救急隊へは、緊急大動脈重点病院につづく優先的搬送を推奨します。

「東京都CCUネットワーク」

当センターは、1978年に東京都CCU連絡協議会（13協力医療施設のCCU部門で構成。2013年4月1日時点、計71施設加盟）発足当時よりのメンバーです。急性冠症候群（不安定狭心症・急性心筋梗塞）・急性心不全・大動脈疾患・肺塞栓症を中心とする急性心血管患者発生時、東京都消防庁総合司令室からの依頼にCCU担当医師が直接対応しております。

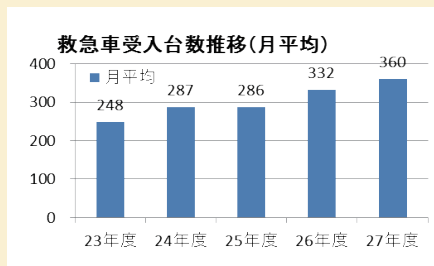
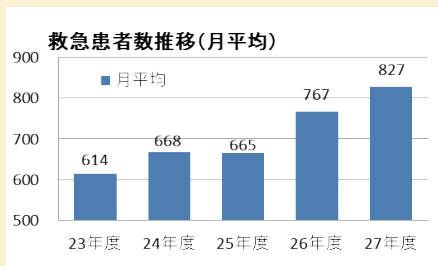
「脳卒中ホットライン」

当センターは、脳卒中ホットラインを開設し24時間、脳卒中救急疾患の受け入れを行っております。神経内科医・脳神経外科とともに、「脳卒中ホットライン：080-4116-1141 脳神経外科医（夜間休日は神経系当直医）が直接対応いたします。」からの要請を受け入れています。2014年6月より運営開始。

「東京ルール」

2009年8月より、東京都では救急患者を迅速に医療の管理下に置けるよう、地域の救急医療機関が相互に協力・連携して救急患者を受け入れる取り組み「東京ルール」が開始され、当センターも参画しています。東京都の搬送先選定困難事例は、整形外科、高齢者、アルコール、精神等が多くなっております。当センターでは、地域救急医療センターとして積極的に受け入れております。

- *搬送先選定困難患者とは、「原則中等症以下で、救急隊による医療機関選定において、5医療機関への受入照会または選定開始から20分程度以上経過しても搬送先が決定しない患者」と定義。



平成27年9月9日の「救急の日」に東京消防庁救急部長から、「多年にわたり救急業務の充実発展に貢献した」ことに対し、当センター救急診療部の坪光雄介部長が感謝状をいただきました。

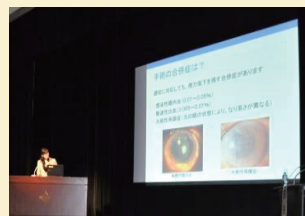
「中高年のための健康講座」のご報告

平成27年11月28日、板橋区文化会館 小ホールにおいて中高年のための健康講座の3講演を開催し、合計362名の方々にご参加頂きました。心よりの御礼を申し上げます。

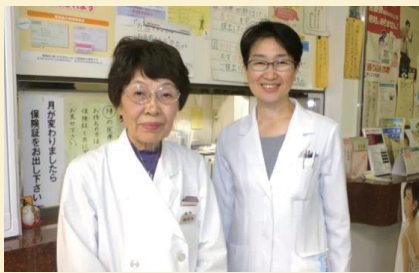
講演1 「知っておきたい白内障」

講演2 「緑内障と言われたら～緑内障ってどんな病気？～」

講演3 「中高年の聴覚障害」



連携医療機関のご紹介 仁木医院



左から仁木 敦子先生
仁木 美奈子先生

当院は昭和36年に板橋警察・消防署の前で整形外科主体の有床診療所として開業以来、54年程になります。

一環して院長である父の方針は、「患者さんにやさしく」であります。そのためは、まずよく患者さんの話を聞くことを大切にしています。患者さんに触れて所見をとり、正しい診断ができるように心がけています。

整形外科は「疼痛」が主訴の患者さんが多いので、まずは痛みを取ることも主眼にしています。柔道整復師・マッサージ師が共に働いてくれており、医師の診断のあと理学療法の中に手技によるマッサージや、運動器リハビリテーションを行うことが可能です。

また整形外科疾患以外も、かかりつけ医として相談にのれるよう微力ながら努力しています。

入院では、疼痛のため自宅介護困難や独居の為介護者のない方などを受け入れております。

治療を行ってなかなか改善のみられない方や、外傷で当院では治療困難な患者さん、入院中に内科等での急変などがあると健康長寿医療センターにお世話になることが多くあります。連携室の方々にはいつも親切に対応していただき感謝しております。

今後も、患者さんに「また行こう」と思っただけの診療所を目標に地域に貢献したいと考えております。

仁木医院

<住所> 〒173-0004 東京都板橋区板橋3-5-3

<電話> 03-3961-5931

<FAX> 03-3963-0143

診療科：整形外科・外科・リハビリテーション科

休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間：午前9時～12時30分
午後15時～18時30分

【アクセス】

都営三田線 板橋区役所前駅 下車徒歩3分 板橋警察署前



公開CPCのご案内

このたび、平成27年度下半期東京都健康長寿医療センター公開CPCを下記のとおり開催致します。皆様の参加を心よりお待ちしております。

開催日時：2016年1月28日(木) 19:30～

担当科：呼吸器内科

臨床診断：誤嚥性肺炎

場所：東京都健康長寿医療センター
3階第3会議室A・B

※本公開CPCは日医生涯教育制度(1.5単位)の対象予定です。

* 事前申込不要、参加費無料です。



前回 公開CPCの様子

アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車 南口・北口より徒歩4分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車 A2出口より徒歩11分

お車でお越しの方に駐車場(駐車料無料)も御用意しております。駐車台数に限りがあることを、予めご承知おきください。

